

特別養護老人ホームと 介護職員のお仕事の紹介

社会福祉法人 愛泉会

1. 施設の特徴

特別養護老人ホームの概要

- 主に介護度3～5の要介護高齢者が住む施設
- 生活(衣食住＋日課＋お楽しみ)の場所
- 多床室施設(2～4人部屋)とユニット型施設(個室)がある

























1. 施設の特徴

特別養護老人ホームの特徴

・主に介護度3～5の要介護高齢者が身体介護や生活支援を受けるための公的な入居施設

○生活の場所 ○介護職員中心のスタッフ配置

○介護度が重い(寝たきり、重い認知症、看取り)

○24時間365日のサービス ○利用料金が安い

○法令で定められたサービス ○多床室・ユニット型個室

2. ほかのサービスとの違い(入所型)

項目	特別養護老人ホーム	有料老人ホーム
運営会社	公的(社会福祉法人・自治体)	民間(株式会社等)
介護保険	サービスの大部分が保険適用	サービスや設備の内容次第
対象者	介護度3～5	(自立)～介護度5
入居一時金	無し	0円～数千万円・数億円
月額自己負担	約8万円～約15万円	約15万円～30万円以上
居室・設備	多床室もある	ホテル並みの住宅も

2. ほかのサービスとの違い(老健)

項目	特別養護老人ホーム	介護老人保健施設
運営会社	社会福祉法人・自治体	医療法人・社会福祉法人・自治体 他
介護保険	サービスの大部分が保険適用	サービスの大部分が保険適用
目的	身体介護や生活支援を受けるための施設 (お看取りもします)	リハビリ等を通じ、在宅復帰を目指す(原則3ヵ月)
対象者	介護度3～5	介護度1～5
月額自己負担	約8万円～約15万円	約9万円～約25万円
スタッフ	介護職員中心	医師常勤、看護師多め、リハ職

3. 各専門職がどのように連携しているか【特別養護老人ホーム】

○介護職員（介護福祉士、介護職員初任者研修 など）

☆サービス提供の中心となる職種

⇒**入居者に一番近い存在**。入居者と一番距離が近く、一番長い時間を一緒に過ごします。

【業務内容】

- ・食事、排泄、入浴等の日常生活全般の介護
- ・居室等の生活空間の整理、設え
- ・行事、会活動等の企画、実施 他

3. 各専門職がどのように連携しているか【特別養護老人ホーム】

○生活相談員（社会福祉士、社会福祉主事 など）

- 入居者の募集。入居申込への対応。**入居/退所時の対応。**
- 入居者/入居申込者の生活状態把握。**家族からの連絡窓口。**
- 施設の窓口業務。地域、行政や各種機関等との連携推進。
- **介護報酬の請求業務**

○介護支援専門員（介護支援専門員）

- **ケアプランの作成及び定期的なチェック。**担当者会議の企画。
- 入居者や**介護員等にケアプランの説明。**

3. 各専門職がどのように連携しているか【特別養護老人ホーム】

○看護職員（看護師、准看護師）

- 日々の健康管理のチェック、服薬管理、医療行為。
- 体調異変時の対応、医師・医療機関への連絡、通院調整
- 感染症対策の指導

○機能訓練指導員（理学療法士、作業療法士 他）

- リハビリの計画作成。リハビリの実施。

3. 各専門職がどのように連携しているか【特別養護老人ホーム】

○管理栄養士

- 献立の作成
- 入居者の食事形態の確認（減塩、禁食、刻み食など）
- 栄養ケアマネジメント
- 介護食の指導。食中毒対策の指導。

○調理員

- 食事の調理。（利用者に合わせた味付け、食事形態）

3. 各専門職がどのように連携しているか【特別養護老人ホーム】

○事務員

- ・入居者が施設外のサービスや追加のサービスを利用した時の支払い、精算。
- ・職員の労務管理。**給料計算。**
- ・施設のお金の管理。**施設の設備備品、消耗品等の管理。**

○施設長

- ・施設の代表

4. 介護職員の日常業務

【業務内容】

- 食事、排泄、入浴等の日常生活全般の介護
- 居室等の生活空間の整理、設え
- 行事、会活動等の企画、実施
- 上記に関わる会議出席、記録作成

4. 介護の日常業務

○ある日の早番業務

7:00 仕事開始。モーニングケア、朝食のお手伝い

8:30 臥床介助、記録（ご利用者様に合わせてトイレ誘導、オムツ交換等）

10:00 入浴のお手伝い

11:30 昼食のお手伝い

11:45 休憩

12:45 休憩終了

13:00 入浴のお手伝い、余暇活動

16:00 記録し、退勤



















5. 求められる介護人財

【求められる介護福祉士像】(H29社会保障審議会)

1. 尊厳と自立を支えるケアを実践する
2. 専門職として自律的に介護過程の展開ができる
3. 身体的な支援だけでなく、心理的・社会的支援も展開できる
4. 介護ニーズの複雑化・多様化・高度化に対応し、本人や家族等のエンパワメントを重視した支援ができる

5. 求められる介護人財

【求められる介護福祉士像】(H29社会保障審議会)

5. QOL(生活の質)の維持・向上の視点を持って、介護予防からリハビリテーション、看取りまで、対象者の状態の変化に対応できる

6. 地域の中で、施設・在宅にかかわらず、本人が望む生活を支えることができる

7. 関連領域の基本的なことを理解し、多職種協働によるチームケアを実践する

5. 求められる介護人財

【求められる介護福祉士像】(H29社会保障審議会)

8. 本人や家族、チームに対するコミュニケーションや、的確な記録・記述ができる

9. 制度を理解しつつ、地域や社会のニーズに対応できる

10. 介護職の中で中核的な役割を担う

+

「高い倫理性の保持」

5. 求められる介護人財



「 愛泉会の場合」

愛泉会の職員が目指す職員像

5. 求められる介護人財

☆介護の仕事で得られる一生もの☆

- つよくてやさしい「心」

= 見守る。信じる。待つ。味方になる。心の調子を保つ。

- 人を安心させる「技」

= 安心して委ねられる介護技術。緊急時の対応。

- 丈夫な「体」

= 人を支える・抱える。怪我しない。日々の体調管理。

5. 求められる介護人財

◆未経験でも、入職後どんどんうまくいく人

- 正直な態度で仕事に一生懸命な人。
- どんな入居者ともたくさん関わろうとする人。
- 自分のことから「やってみよう」と挑戦する人。